

平成30年度第1回総合教育会議会議録

場所 大津町役場2階 大会議室

1 開会及び閉会に関する事項

開 会 平成30年11月19日(月) 午前10時00分
閉 会 平成30年11月19日(月) 午前11時40分

2 出席した構成員の氏名

大津町長	家入 勲
大津町教育委員会教育長	吉良 智恵美
大津町教育委員会教育長職務代理者	首藤 誠治
大津町教育委員会委員	中尾 精一
大津町教育委員会委員	斎藤 陽子
大津町教育委員会委員	津留 武芳

3 構成員及び傍聴人を除く外、会議に出席した者の氏名

総務部長	本郷 邦之
総務部総合政策課審議員	本田 修
総務部総合政策課企画政策係主事	小田 順一
教育委員会教育部長	市原 紀幸
教育委員会教育部次長	野村 宗生
教育委員会教育部学校教育課長兼教育支援センター長事務取扱	豊住 浩行
教育委員会教育部生涯学習課長兼図書館長	荒木 啓一
教育委員会教育部子育て支援課長	大隈 寿美代
教育委員会教育部学校教育課施設係長	古庄 大輔
教育委員会教育部学校教育課学務係長	下田 春美

4 傍聴人の有無

無し

5 協議題を提出した者の氏名

①第6次大津町振興総合計画について	(本田審議員)
②ICT教育(プログラミング教育)推進に向けた環境整備について	(野村次長)
③学校施設整備計画の策定及び施設改修について	(豊住課長)
④新学習指導要領実施に向けた取り組みについて	(豊住課長)
⑤その他(特認校制度)	(豊住課長)
⑥地域学校協働活動について	(荒木課長)
⑦電子図書館の導入について	(荒木課長)
⑧待機児童対策について	(大隈課長)
⑨その他	

6 質問及び討論

①について

意見 よく連動して作ってあると思う。前期4年間で力を入れて取り組むことについて、総合政策課と教育委員会が協議しながら意見も聞いていただいで進めていただければと思う。

質疑 新学習指導要領実施に向けた取り組みについては、どこに記載してあるか。

答弁 新学習指導要領の実施という文言はありませんが、職員の配置ということで「教育環境の整備・充実」の「各種指導員・補助員の配置」で位置付けています。また、「社会を生きる力の育成」のところで「新学習指導要領先行実施による小学校外国語活動・英語科への授業支援」があります。

②について

意見 学校訪問等で授業風景を見るときに、電子黒板等の大型機器が全体的に入っていないため、タイミングよく使えないときがある。子どもたちの授業に対する意識が違うと思うので、各クラスでいつでも使えるようにぜひ整備をお願いしたい。また、それを使う先生たちのレベルが上がっていかないと難しいと思うので、職員の資質向上も合わせて取り組んでほしい。

意見 電子黒板がある教室とない教室では、子どもたちの目の輝きが違う。電子黒板を使った授業では集中していて非常に効果がある。先日、菊池郡市の教育委員研修会があり他の市町の話聞いたが、ICT機器の導入については大津町より進んでおり更に強化すると言われていた。電子黒板の導入は大津町が早かったが、財政部局と相談しながら少しずつ進めている一方、他の市町は大津町の状況を聞いて一気に追い越していった。平成32年度には国の整備計画に基づいて整備しなければならないということをご理解いただきたい。導入して先生たちの指導もしていけば、確実に学力は向上すると思う。

③について

無し

④について

意見 菊池郡市では大津町だけ指導主事がないが、大事な意味合いがあるのでぜひ配置してほしい。また、職員数について、菊池市と合志市は合併したので多いと思うが、菊陽町と比べても少ないのが気になる。学校教育課は人数が少なく、休日勤務もしていることに驚いた。ぜひ考えていただきたい。大津町は学習支援指導員等が非常に充実しており、それを減らすのは難しいかもしれないが、学校教育課の勤務を希望する人は変更するなどカバーできる部分はないかと考えている。

意見 これから学習指導要領が変わり想像できないような改革が多くあるので、計画的に進められるように、指導主事の配置についてぜひご理解いただきたい。

意見 不登校児童生徒の増加に対して、各学校の取り組みがそれぞれ違うと思うが、ある程度レベルを上げて各家庭への対応も含めて内容を向上させてほしい。そのためにも

指導主事を配置して各学校の指導をお願いしたい。

⑤について

無し

⑥について

質疑

「優秀な宝を都会に放出せず」というのはどういうことか。

答弁

できるだけ大津町に就職して留まってもらいたいということです。

質疑

組織の中には中学校も入っているか。

答弁

中学校も入っています。

意見

組織の中に企業誘致課が入っているが、町には魅力ある農業もあり、今後は必要な部署を入れていただきたい。

答弁

コーディネーターから出た議題を本部で協議するという形になると思いますが、その中に農業関係が出てくれば農政課も入ってくると思います。毎年、要綱で変えていきたいと思います。あまり大きくなると身動きが取れなくなりますので、初年度はこの形で考えています。

質疑

条例改正という説明があったが、どういうものか。

答弁

報酬と費用弁償の部分です。地域学校協働活動本部については要綱を制定します。

⑦について

意見

菊陽町と合志市はまだ検討中ということだが、大津町が導入すれば導入されると思う。菊池郡市が協力して導入することで費用が安くなりメリットがあるのでぜひ進めてほしい。

質疑

月5万円のランニングコストはクラウド使用料やネット回線接続料だと思うが、電子書籍は1ついくらというのがあるのか。

答弁

オプション料というのが何冊かの書籍は無料というものです。何人でも接続できるタイプや、1冊に3人ぐらいが接続して借りることができるタイプなど、書籍によって違い料金も違います。初期投資を菊池市で負担していただけるということで、書籍は少しずつ追加が必要だと思います。

質疑

今図書館にある本はすべて見ることのできる程度のボリュームがあるのか。

答弁

オプション追加料の100万円で約250冊です。250冊だけ買うのは図書館としての機能が難しいので、オプション等を利用して色々な書籍を見ることができるようになりたいと考えています。

⑧について

質疑

学童保育の受け入れは室小が厳しいのか。

答弁

推計には社会増や利用率の増加を見込んでいませんが、利用者は増えると思いますので、もう少し精査しながら考えていきたいと思います。

意見

昭和園の駐車場に設置している学童施設は、湿気が多く木が生い茂って薄暗いと感じる。また、翔陽高校付近や楽善にマンション7棟と一戸建て15棟が建設中で約100世帯増え、半分ぐらいは若い人たちではないかと思う。そういう状況も見ながら

考える必要があると思う。

意見 小学校運動部活動の社会体育移行に伴う学童と社会体育の関係で、兄弟で下の子は預かってもらえるが上の子は行き場がないため高学年の要望も多い。そこを検討していかなければいけないと思っている。

答弁 平成32年4月に開所予定の天津小の学童施設については、月1回程度の放課後子ども教室を検討しており、校長先生や生涯学習課と協議しながら進めています。今後も協力しながら子どもの居場所については検討していきたいと思えます。

意見 それも良いと思うのでぜひ実施していただきたいが、災害があったことで安全確保の場という視点で学童保育を利用されている保護者も多いので、そういうニーズがあるということは考えなければいけないと思う。

⑨について

意見 学校の施設や校区の問題等大きな問題がある。電子黒板は、当初2教室に1台ずつ計画的に導入していくと議会に話してある。議会の方からは先生たちの指導能力は大丈夫かと言われてきた。その後は何もしていない状況で、他の市町より遅れているのは確かである。子どもは宝なので、天津で育ち、天津で学び、天津で就職してもらうためにも、教育内容の充実を図っていかなければならないと思っている。指導主事の配置についても、今日話を聞いて、置かなくてはならない状況だと思った。教育部局の方で教育委員の皆さんとしっかり話をしながら、学校教育や生涯学習の問題について考えてもらいたい。あとは職員の能力とやり方等をしっかり勉強してもらい、子どもたちのためになるような環境づくりや先生たちの指導等である。先生ができて物がないと教えられるという状況なので、私たちも設備投資等についてはしっかりやりたいと思っている。行政がしっかりやっていかなければならない時なので、今後はしっかり先生たちの意見を聞きながら前に進めるように支援していきたい。皆さんの意見を取り入れながら、天津の子どもたちが高齢者になっても生涯学習をはじめいろんな形でやっていかななくてはならない、そういう時代の流れに合ったものを先取りして進めていくのが私たち行政の役割と思っている。それが町民の皆さんの幸せのために働く職員であると思っているので、今後とも皆さんの忌憚のない意見を出していただき、予算のバランスを取りながら取り組みをさせていただきたい。